

令和5年度 勇払マリーナ管理運営状況報告書

令和6年4月30日

指定期間 令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

指定管理者名 株式会社ベルポート北海道

所管課名 苫小牧港管理組合総務部業務経営課

1 施設の利用状況

(単位:隻)

施設名等	契約隻数		出艇数	
	今年度	前年度	今年度	前年度
海上係留	19	22	975	1,194
陸上艇置場(Aヤード)	39	37	618	529
陸上艇置場(Bヤード)	32	35	507	687
船揚場	34	40	213	249
物揚場	3	3	海上に含む	海上に含む
水上オートバイ	0	0	0	0
ビジター			85	95

2 収入の状況

(単位:千円)

主な収入項目			予算額	決算額
指定管理業務	利用料金収入	海上係留	10,000	10,130
		陸上艇置場(Aヤード)	10,000	11,447
		陸上艇置場(Bヤード)	5,000	5,630
		船揚場	1,100	1,323
		物揚場	1,500	1,902
	その他の利用料金収入		2,200	5,411
その他諸収入			0	0
自主事業収入			32,000	31,057
合 計			61,800	66,900

3 支出の状況

(単位:千円)

主な支出項目	予算額	決算額
人件費(給与、手当、通勤費、福利厚生費外)	25,000	26,020
需用費(消耗品費、修繕費、光熱水費等)	7,200	8,716
役務費(保険料、通信運搬費等)	3,200	3,854
委託料(設備点検委託費外)	1,080	1,608
その他諸経費	4,000	4,586
自主事業費	20,000	19,801
合 計	60,480	64,585

4 利用者からの要望に対する対応

要望・相談・苦情	改善等の内容
・Bヤードトイレを簡易トイレではなく普通のトイレにしてほしい ・風向・風速・波高などを外に表示してほしい ・冬季温水が利用できる施設がほしい ・安全管理をちゃんとしてほしい ・修理体制を整えてほしい ・コイン洗艇機が故障したら早く治してください - paypayだけでなく他のカードも利用したい ・斜路料金に半年の料金があれば良い ・休日、好天の場合出勤して着岸サポートできないか ・マリーナ内に遊漁船が多すぎる、プレジャーボートと遊漁船の置場を考えてほしい ・火・水曜日も上下架してほしい ・着岸サポートをしっかりと行ってください ・釣果情報があればもっと良い スタッフの対応がよい 今後とも船の管理をお願いします	・施設改修工事が必要になるため現状維持とします。 ・波高は分かりませんが、管理棟ロビーに表示しています。問い合わせいただけるとお教えいたします。 ・施設改修工事が必要になるため現状維持とします。 ・ご利用者にもご協力いただきながら安心・安全なマリーナを構築したいと思います。 ・ある程度の修理は出来ますのでご利用ください ・朝夕、故障していないか点検いたします ・現状維持でお願いいたします ・料金体制が確立しているので現状維持をいたします - 休日にスタッフを拘束することになりますので、現状維持でお願いします。 ・マリーナとしては遊漁船との共存共栄を考えております - 休日にスタッフを拘束することになりますので、現状維持でお願いします。 ・スタッフの練度を更に高めます ・Facebookに釣果情報を発信しています。また、Bヤードハウスにみんなの釣果情報掲示板を作成しました。皆様の協力で釣果情報を充実させてください

5 自主事業の概要

計画	実施状況
・小型船舶の販売、修理等 事業収入 5,500千円 ・燃料の販売 1,500千円の純利益 ・ボート免許教室(年8回) 受講者数70名 ・レンタルボート 30回 利用者数90名 ・牡蠣販売(イベント含む) 来客数160人 ・管理棟ロビー活動(物販コーナー)	・小型船舶の販売、修理等 事業収入 9,825千円 ・燃料の販売 1,620千円の純利益 ・免許教室年8回 受講者数 46名 ・レンタルボートは、年45回 利用者数 140名 ・夏場の高温による牡蠣不漁により商品手配出来ず実施ませんでした。 ・管理棟ロビー活動(物販コーナー) とまチョップ水、保冷水の販売 3千円

6 指定管理者が提案した取組等の実施状況

提案内容	実施状況
【施設管理運営】 方針1 安全第一 方針2 平等利用 方針3 地元貢献 方針4 維持管理費の縮減 令和5年度における目標 1) 利用者数(契約数)の維持 ① 海上係留19隻(R4年度22隻→3隻減) ② 陸上艇置場(Aヤード)39隻(R4年度37隻→2隻増) ③ 陸上艇置場(Bヤード)32隻(R4年度35隻→3隻減) ④ 船揚場34隻(R4年度40隻→6隻減) ⑤ 物揚場3隻(R4年度3隻→増減なし) 2) 利用者数(契約者以外)の向上 3) 無駄を省き適切な経費を支出 【施設効用等】 ① 海上釣り堀の設置 ② ボート免許教室の開催 ③ 水中ドローン教室の開催 ④ イベントの開催 ⑤ 研修室の利用向上 自主事業による収益の使途 遊漁船との共存 【安定的管理に必要な人員等】 巡回体制(夜間及び休業日の当直はベルポート北海道の正社員で対応) 職員育成及び研修 【管理経費の縮減】 部品在庫を用意し、日常点検時に確認することで軽微うちに修繕を実施。 施設警備費の削減 自主事業との兼任による人件費の削減	・出港届未提出の船がいたら注意、指導しルールの徹底を図っています。 ・利用者に平等に接するようミーティングで確認しています。 ・勇払商工振興会役員として「ゆうふつ花火大会」「勇払夏まつり」「恵比須神社例大祭」「トライアスロン大会」「マラソン大会」など地域行事に協力した。 ・日々の巡回時や定期的な施設点検にて施設の損傷状況を確認し、早期発見に努めた。 ・保管艇の減少が続く中、R5年度は現状維持を目標としたがR4年度契約艇137隻に対し、R5年度は127隻と10隻減少した。日々の声掛けなど契約継続に努めたが、高齢化により船を手放す方が多数を占め、引き留めることが出来なかった。 ・レンタルボートの利用者数が大幅に増加(90名→140名)した他、花火大会(来場者約6,000人)やトライアスロン大会(参加選手320人、関係者・ギャラリー約100人)に協力することで苫小牧市民をはじめ道内、道外から多くの方にマリーナへ足を運んでいただいた。 ・電気料金の高騰をうけ、海上陸上給電設備を利用している利用者に対し節電を呼びかけ、需用費R4年度10,360千円に対し8,716千円と1,644千円の経費を削減した。 ・R4年度の試験営業を受けて問題点、課題などを整理しR5年度の実施を目指したが、本格実施には多額の費用が発生することから実施を見送りました。 ・受講者数 R4年度70名に対してR5年度は46名と減少。 ・弊社グループ会社のベルポート宇土から講師を招き実施、5名の受講者があった。 ・人員の関係で自社主催のイベント開催は出来なかったが、勇払商工振興会と勇払自治会が主催する花火大会を勇払マリーナをメイン会場として実施していただいた。来場者数は約6,000人、初めてマリーナに来たとの声も多数いただき、マリーナに興味関心を持ってもらうことはできたと思います。 ・使用予定の無いときはオーナーズルームとして開放している他、野鳥の写真などを展示し一般の方にも楽しんでいただいています。 ・自主事業による収益の使途としてマリーナ運営経費に運用している。 ・遊漁船からは燃料の売り上げと修理の依頼などがあり、良好な関係を築き共存出来ています。 ・巡回当直員はベルポート北海道の正職員3名で対応 ・マリーナ職員として必要な、一級小型船舶操縦士、危険物取扱者、フォークリフト運転、玉掛け技能講習やインストラクター資格の取得支援を行っている。 ・日常点検等に合わせて、ダメージが深刻にならない軽微な状態のときに補修を実施している。 ・マリーナ施設の夜間警備は自前のスタッフで行うことにより、外注委託費の削減に努めています。 ・経費削減のため効率的な運用に努めています。

7 事業計画のうち未実施の事業

牡蠣販売、海上釣り堀の設置、公園の有効活用

8 配置人員

計画				実施状況			
総括責任者	1	名		総括責任者	1	名	
支配人	1	名		支配人	1	名	
ヤード・経理職員	6	名		ヤード・経理職員	5	名	
警備職員	4	名		警備職員	5	名	
合 計	12	名		合 計	12	名	